

研修機関が公表すべき情報の内訳

研修機関情報	法人情報	● 法人格・法人名称・住所等 学校法人 つしま記念学園 札幌市清田区真栄434番地1 ● 代表者名、研修事業担当理事・取締役名 理事長 対馬 徳昭 ● 教育事業を実施している場合・事業概要 ・専門学校 日本福祉学院 ・専門学校 日本福祉リハビリテーション学院 ・専門学校 日本福祉看護・診療放射線学院
	研修機関情報	● 事業所名称・住所等 専門学校 日本福祉学院 北海道札幌市豊平区月寒西1条4丁目3-1 つしま記念学園研修センター 2F ● 理念 法令等の定めるところに従い、地域における介護サービスが必要な方への増大かつ多様化するニーズに対応し、適切な介護サービスを提供するための必要な知識及び技能を有する福祉社会に役立つ心豊かな人材の育成を図ることを目的とする。 ● 学則 学則(リンク先参照) ● 研修施設、設備 介護ベッド(5台)、車いす(5台)、ポータブルトイレ(3台)、その他介護用品完備
研修事業情報	研修の概要	● 対象 ・求職者支援訓練(通学) ・機動職業訓練(通学) ● 研修のスケジュール(期間、日程、時間数) 日程(HPにて随時情報更新) ● 定員(集合研修、実習)と指導者数 定 員 各研修 30名 指導者数 16名

	● 研修受講までの流れ(募集、申し込み) 1) 最寄りのハローワークにて募集受付 2) 必要書類持参及び郵送(受講生より) 3) 受講関係書類送付(本学院より) 4) 筆記試験・面接にて選考 5) 合格通知発行(本学院より) 6) 受講開始 ● 費用 1) 受講料無料 2) テキスト代・見学及び実習交通費自己負担あり ● 留意事項 ・学則参照 ● 特徴 ・専門学校日本福祉学院の介護福祉士養成コースのノウハウをそのまま初任者研修のカリキュラムに盛り込んだ研修内容となります。初任者研修修了後、介護福祉士を目指す基本が、この研修で身につきます。実習も6日間と充実しているため、資格取得後すぐに就職をお考えの方は、即戦力として介護現場での活躍が期待されます。 ● 受講者へのメッセージ ・介護・福祉・医療のトータル的な知識が学べ、実習を通して現場を実感できるカリキュラムとなっています。また、キャリアコンサルタントによる就職支援も個別で実施しているため、就職までの間やもちろん就業後も、きめ細やかに対応しています。ぜひ、一度見学に来てください。																								
課程責任者	● 課程編成責任者名 小林 妙高 平成13年2月1日 株式会社 ジャパンケアサービス入社 平成22年1月1日 学校法人つしま記念学園 異動 平成24年4月1日 専門学校 日本福祉学院 附帯教育事業部 異動																								
研修カリキュラム	●カリキュラム <table border="1"> <thead> <tr> <th>科 目 名</th><th>研修時間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 職務の理解</td><td>6時間</td></tr> <tr> <td>2. 介護における尊厳の保持・自立支援</td><td>9時間</td></tr> <tr> <td>3. 介護の基本</td><td>6時間</td></tr> <tr> <td>4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携</td><td>9時間</td></tr> <tr> <td>5. 介護におけるコミュニケーション技術(実習を含む)</td><td>24時間</td></tr> <tr> <td>6. 老化の理解</td><td>6時間</td></tr> <tr> <td>7. 認知症の理解</td><td>6時間</td></tr> <tr> <td>8. 障害の理解</td><td>3時間</td></tr> <tr> <td>9. こころとからだのしくみと生活支援技術(実習を含む)</td><td>93時間</td></tr> <tr> <td>10. 振り返り</td><td>4時間</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>166時間</td></tr> </tbody> </table> (1) 研修は、講義・演習・実習によって行うこととする。 (2) 科目の実施する順番は、番号順に行うこととする。 (3) 講義と演習については、各科目の中で一体的に実施することとする。	科 目 名	研修時間	1. 職務の理解	6時間	2. 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	3. 介護の基本	6時間	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間	5. 介護におけるコミュニケーション技術(実習を含む)	24時間	6. 老化の理解	6時間	7. 認知症の理解	6時間	8. 障害の理解	3時間	9. こころとからだのしくみと生活支援技術(実習を含む)	93時間	10. 振り返り	4時間	合 計	166時間
科 目 名	研修時間																								
1. 職務の理解	6時間																								
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	9時間																								
3. 介護の基本	6時間																								
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間																								
5. 介護におけるコミュニケーション技術(実習を含む)	24時間																								
6. 老化の理解	6時間																								
7. 認知症の理解	6時間																								
8. 障害の理解	3時間																								
9. こころとからだのしくみと生活支援技術(実習を含む)	93時間																								
10. 振り返り	4時間																								
合 計	166時間																								

	● 科目別シラバス ・別紙シラバス参照 ● 科目別時間数と科目別担当教員名 ・別紙シラバス参照 ● 科目別特徴 ・別紙シラバス参照 ● 修了評価 全科目終了時に修了評価を実施 ・100点満点中60点以上を合格とする ・60点以下のものは、補習後再評価を実施する (1時間の補習料及び再評価受験料として2,000円を徴収する)
実習施設 (実習を行う 場合)	● 協力実習機関の名称・住所等 社会福祉法人 ノテ福祉会 〒004-0839 北海道札幌市清田区真栄434-6 電話:011-885-8787 ● 協力実習機関の介護保険事業の概要☆ ・ノテ福祉会 HP 参照→http://www.note.or.jp/ ● 協力実習機関の実習担当者名 ・実習施設一覧参照 ● 実習プログラムの内容、実習プログラムの特色 【実習の目的】 ①実際に介護が行われている施設において、実習指導者の指示・助言を受けながら利用者の生活を見学、または関わることで、介護のあり方を理解する。 ②施設で生活している利用者とのコミュニケーションを通して、個々の人間の理解、生活の理解を深め、気づきをもって学習の積み重ねができる。 ③施設での見学・体験を通して、介護者に求められる姿勢、役割を認識するとともに、介護職に対して就業意欲をもつことができる。 【実習の内容】 (1)事前オリエンテーション ①実習配属表を作成し実習施設毎に交通経路・時間等を説明 ②必要書類をまとめて実習ファイルを個々に配付 交通機関・出欠簿・実習オリエンテーション(実習の手引き)・留意事項・実習日誌・まとめの記録用紙 ③実習ファイルに基づき、実習中の流れを説明 ④記録の仕方の説明 ⑤実習後の学習の流れを説明 ④グループ毎にリーダー・サブリーダーを決め、役割を示す ⑤利用者との接し方・関わり方について具体例を用いて演習 (2)実習 ①実習の初日に実習担当者からオリエンテーション ②見学・コミュニケーションを通しての関わりから、業務に支障が出ない範囲で指導・助言を受けて体験学習する ③毎日の実習で振り返りの時間を設け、実習担当者による記録や質問等への対応

		● 実習中の指導体制・内容（振り返り、実習指導等） 【実習中の指導体制】 ①各フロア・ユニットおよび事業所内の実習指導者から、事前オリエンテーションで説明を受けた内容について、実際に現場ではどのように動いていくのか、見学及び体験を通し指導する ②学校内で学んだことを確認しながら指導する ③実習日誌を毎日確認しながら指導する ④実習指導者からの指導を受けることによって介護の知識及び実践的な介護技術を身に着ける 【実習後の振り返り】 ①実習ファイルをもとに、実習後の感想を1人ずつ述べる。感想の内容によっては、演習等を通して学習を深める。 ②他者の感想・意見等を聞いた上で再度自身の実習を振り返り、記録用紙をまとめる。過去の受講生の記録等も紹介しながら書き進める ③報告会を設け、記録したものをもとに、1人ずつ発表する ④発表終了後、記録用紙を全員分まとめ、報告集として配付する 【実習担当者からのメッセージ】 ・実習生が入ることで、職員にとっても利用者にとっても刺激になる ・実習生の気づきから、こちらも気づかされることがある ・今後の人材として、職員としての採用につなげたい ● 協力実習機関における延べ人数 平成22年度 71名 平成23年度 215名
講師情報		・講師一覧を参照
実績情報		● 過去の研修実施回数（年度ごと） 平成22年度 4回 平成23年度 17回 ● 過去の研修延べ参加人数（年度ごと） 平成22年度 71名 平成23年度 215名 ● 卒業率 平成22年度 100% 平成23年度 94% ● 卒業後の就業状況（就職率／就業分野） 平成22年度 83.5% 平成23年度 82.7% ● 卒業後の相談・支援 ・キャリアコンサルタントによる就職支援 （岡田 雅子・石黒 美穂子・小林 妙高）

連絡先等	● 申し込み・資料請求先 専門学校日本福祉学院 介護職員初任者研修事務局 電話：011-827-7217 FAX：011-827-7062 メールアドレス:m_kobayashi@tsushimakinen.ac.jp ● 法人の苦情対応者名・役職・連絡先 学校法人 つしま記念学園 部長 香川 朗 電話：011-885-8866 ● 事業所の苦情対応者名・役職・連絡先 専門学校日本福祉学院 学院長 数馬田 敏 電話：011-827-7217
質を向上させるための取り組み	● 実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携 ・研修機関はグループ法人のノテ福祉会と綿密な連携を取りながら開始前・開始中・開始後の3回のミーティングを行っています。訓練生からの苦情等についても迅速に対応する体制が取れています。 ● 研修活動、研究活動 ・会部研修への積極的な参加、及び介護技術インストラクター養成研修・介護福祉士受験対策講座・介護福祉士養成講座等多数の研修指導実施 ● 研修生満足度調査情報(アンケート、研修生の声など) ・3か月という長いようで短い講座でした。卒業が近くなるにつれ、後2、3か月まだいたいなという気持ちになりました。素晴らしい先生たち、クラスメイトに出会えて、自分も成長し、多くを学ぶことができましたと思います。ありがとうございました。(38歳女性) ・何十年ぶりに受ける授業は新鮮でした。毎日の授業内容の一つ一つが母親の介護に置き換えることと、当時の様子を振り返ることによって自然に理解できたと感じます。こんなに集中して勉強できたことも初めてだと思います。自分と介護を結びつけた何らかの「力」に感謝です。(54歳男性)

●:必須 △:可能な限り公表

☆:他のページにリンクで対応可

注1 インターネット上のホームページにより情報を公開する。

- 2 サーバーは、法人ごと事業所ごとに自ら確保する。
- 3 基本ストラクチャは変更しない。
- 4 受講者の募集を開始する時までに公開するものとする。